

西遊寺古文書目録

古文書目録の見方

深澤 茜

古文書目録は、保存管理及び活用を目的に作成したもので、整理した古文書の情報は、だれが見てもわかることを目指している。目録の各項目に古文書の内容だけでなく、一括関係や包紙など保存の現状を記録した。古文書の検索だけでなく、保存や修復等にも役立つものとする。このように古文書の情報を整理しておくことは古文書を将来にわたって管理することが重要であり、そのためにも目録は必要となる。

目録の見方は凡例を参照していただきたい。古文書目録と朱印状目録と2種類ある。古文書目録には文書群全体を載せているが、朱印状目録には法量を記し、朱印状に特化した目録とした。また、箱3の収納状況と取り上げた時のまとまりを別表で示している。

<凡例>

- 一、表記は原則として常用漢字を用い、常用漢字がないものは正字を用いた。ただし、合字（ㄨ、ㄴ）や助詞として慣用的に使用する仮名（而・者・江・茂）等は、そのまま使用した。
- 一、虫損などで文字が判読不可能なものは、字数が明らかなものは□で記し、字数が不明なものは[]で表記した。
- 一、項目に記述がない時は―で表した。
- 一、古文書が包紙やこより等で一括にされているもの、あるいは合冊がなされているものは、枝番号を付した。
- 一、文書名は原則として文書本文の右端に書かれているそのままの原題を記し（原題表記）、原題がないものは適宜文書名を付け〔 〕で記した。
- 一、年月日・西暦は原則として作成年代を取り、年月日が内容・干支などから推定できるものは（ ）で記した。また年月日が不明なものは西暦の項目にxxと記し、月・日が部分的に不明なものはxで記した。
- 一、差出人・作者は文書の表記通りに記載し、印判で推定できるものは（ ）で補った。花押や印があるものは（花押）・（印）と表記した。
- 一、宛名は文書の表記の通りに記し、殿・様・御中などの敬称もそのまま付けた。
- 一、形状は古文書学の形状分類をふまえた上で適した名称を記した。
- 一、備考では、一括状況や包紙・貼紙・端裏・奥書の有無とその記載内容、地名など他項目で表せなかった内容を記載した。
- 一、／は改行を表している。

西遊寺古文書目録

文書番号	枝番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
1	-	徳川家康領知朱印状	慶長5年5月25日	1600/05/25	家康(朱印)	橋本/西遊寺	折紙	(包紙上書)「橋本町/西遊寺」No.1~3は木箱に収納、蓋表面「御朱印箱 西遊寺」、身内底面に「元禄十二巳巳年十二月 聖誉 代造調」
2	-	徳川秀忠領知朱印状	元和3年8月16日	1617/08/16	(秀忠朱印)	浄土宗/三拾六ヶ寺	折紙	包紙上書「八幡山下寺庵/浄土宗三十六ヶ所分」とあり、次に包まれていた包紙には「台徳院様」とある。
3	-	徳川家光領知朱印状	寛永13年11月9日	1636/11/09	(家光朱印)	-	折紙	包紙上書に「大猷院様」とあり、次に包まれていた包紙には「八幡山下寺庵/三十六ヶ所分」とある。
4	-	知行方目録	慶長5年5月25日	1600/05/25	家康(朱印)	-	折紙	(包紙上書)「権現様御朱印/六ヶ寺組/慶祐庵・長福寺・奥庵・観音寺・際講田・徳正」、六ヶ寺合せて3石9升
5	-	石清水八幡宮山下寺庵浄土宗之目録	元和3年8月16日	1617/08/16	伊賀守(花押)	-	継紙	(包紙上書)「目録/浄土宗三十六ヶ寺」
6	-	石清水八幡宮山下寺庵浄土宗之目録(写)	元和3年8月16日	1617/08/16	伊賀守	-	継紙	(包紙上書)「目録/浄土宗三十六ヶ寺」文書番号5の写書。
7	-	徳川家綱領知朱印状	寛文5年8月15日	1665/08/16	(家綱朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
8	-	徳川綱吉領知朱印状	貞享2年6月11日	1685/06/11	(綱吉朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
9	-	徳川吉宗領知朱印状	享保3年7月11日	1718/07/11	(吉宗朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
10	-	徳川家重領知朱印状	延享4年8月11日	1747/08/11	(家重朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
11	-	徳川家治領知朱印状	宝暦12年8月11日	1762/08/11	(家治朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」

西遊寺古文書目録

文書番号	枚番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
12	-	徳川家斉領知朱印状	天明8年9月11日	1788/09/11	(家斉朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
13	-	徳川家慶領知朱印状	天保10年9月11日	1839/09/11	(家慶朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
14	-	徳川家定領知朱印状	安政2年9月11日	1855/09/11	(家定朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
15	-	徳川家茂領知朱印状	万延元年9月11日	1860/09/11	(家茂朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」
16	-	橋下西遊寺縁因紀	慶長6年極月	1601/12/x	吉田一益斎(花押)	-	卷子	(箱書)「西遊寺紀」と蓋にある。蓋裏には「明治四拾参年参月/寄附者家村勇次郎」
17	-	普現山西遊寺古今記録	-	xx	-	-	縦帳	普現山聖善院西遊寺縁起・9世～19世住職履歴等あり。
18	-	[焼野墓地阿弥陀如来等石仏由来記]	-	xx	十七主	-	縦帳	焼野阿弥陀石像の素屋再建につき。
19	-	真阿上人并法類中江西遊寺日中より差入候法類相統約定書之写	天保11年12月25日	1840/12/25	西遊寺且方惣代世話人烟草屋新兵衛他六名	真阿御上人様/同御法類中	縦帳	相統約定書上げ。
20	-	橋本一本山西遊寺御歴代御法号記	安政2年8月上旬	1855/08/x	廿三世立誉	-	縦帳	開山感誉～安政6年没立誉までを記す。
21	-	八幡浄土宗鎮西派下西遊寺寺院本末牒	延享2年12月	1745/12/x	西遊寺/現住職常誉(印)	-	縦帳	末寺・孫末寺書上げ。
22	-	[記牒写]	天保14年初冬	1843/x/x	惣本山華頂大僧正方格御判/御印	橋本西遊寺真阿	横帳	-
23	-	西遊寺新古常什物之記	宝永元年5月	1704/05/x	-	-	縦帳	善阿・善誉・洞誉・妙誉代新什物を追記す、表・裏表紙に継目朱印あり。
24	-	西遊寺常什記	寛延3年吉辰	1791/x/x	常誉運悦	-	縦帳	新什物等書上げ。
25	-	新規常什物	天保11年正月より同13月迄	1840/01/x～1842/01/x	戒誉頭典代城州縁喜郡八幡橋本西遊寺	-	縦帳	「立誉代とふなん」の貼紙あり。表紙・裏表紙の継ぎ目に印あり。
26	-	新什物覚	徳弘化元年至嘉永3年	1844/x/x 1850/x/x	城羽八幡橋本西遊寺品誉代	-	縦帳	什物書上げ、表紙・裏表紙の継ぎ目に印あり。

西遊寺古文書目録

文書番号	校番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
27	-	什物帳	-	xx	西遊寺住職多田了珠(印) 末寺惣代安養寺住職林善隆(印) 檀中惣代家村久左衛門(印) 戸長有馬九良兵衛(印)	-	罫紙	本尊阿弥陀佛ほか什物書上げ。
28	-	記	明治18年12月4日	1885/12/04	宝青庵起主信徒 森本佐兵衛	西遊寺住職多田了珠殿	縦紙	宝青庵にあった朱印状13通が宝井絶禅の死去を機に西遊寺に移った。
29	-	[西遊寺縁起]	-	xx	-	-	罫紙	西遊寺の縁起を簡潔にまとめている。
30	-	土蔵新建諸記	明治2年3月	1869/03/x	預主進管上人/発起世話主家村久左衛門	-	横帳	楠葉関門にあった蔵を鍵屋久左衛門によって新建させた。括り文あり。差込みあり。
31	-	一札之事	正徳6年2月6日	1716/02/06	あさなとうじやう田惣百姓(印) きも入小森勘助(印)	橋本町西遊寺様参	縦紙	田地借用に関する証文、包紙に「夫婦石/古証文式通西遊寺/圍ひたき」とあり。虫損あり。
32	-	永代売渡シ申地之事	享保18年12月26日	1733/12/26	売主北ノ町喜助(印) 請人同丁室津屋利兵衛(印)	西遊寺御納所	縦紙	焼野はかの向の畑一ヶ所を永代売渡す証文。端裏書に「享保十八癸丑年十二月廿六日ニ売受申候」とある。
33	-	譲り渡シ畑之事	元文3年3月	1738/03/x	八木八郎右衛門(印) 請人小間物や四郎兵衛(印)	北町市郎兵衛殿	縦紙	焼野の畑一ヶ所を銀子300目で売渡す。
34	-	覚	寛保2年9月13日	1742/09/13	楠葉村出作惣代七郎右衛門印 庄左衛門印 橋本出作惣代儀右衛門印、彦右衛門印	楠葉口町庄や年寄中	縦紙	田中清右衛門のもとで決済された。
35	-	永代譲り渡屋敷之事	寛政3年12月	1791/12/x	譲り主栗津将監(印) 証人親類落合大蔵(印) 証人定使新右衛門(印)	西遊寺	縦紙	北之町東側3カ所の屋敷を落合将曹から文銀1貫58目で受け取ったことを表す証文。
36	-	永代売渡田畑之事	安永6年12月	1777/12/x	売主北町米屋平兵衛(印) 一家惣代請人七兵衛(印) 世話人弥兵衛(印)	西遊寺翻書和尚御代御納所中	縦紙	田畑4ヶ所売渡し証文。

西遊寺古文書目録

文書番号	校番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
37	-	永代譲り焼畑之事	安永8年霜月	1779/11/x	譲り主近江屋五兵衛(印) 請人丸屋半兵衛(印) 口入西村清兵衛(印)	西遊寺様	縦紙	奥書に「西村源次(印)」あり。
38	-	永代譲り本斗米事	安永3年2月18日	1774/02/18	譲り主志水御家田喜兵衛(印) 請人新十郎(印)	西山清兵衛殿	縦紙	譲り状、古証文2通添えてあるとあり。
39	-	永代譲り渡申山之事	天保3年2月	1832/02/x	譲り主西村六右衛門(印) 証人西村伊右衛門(印) 口入別峯安兵衛(印)	蟹屋平兵衛殿	縦紙	塩釜山一箇所の売渡し証文。
40	-	別紙一札之事	嘉永6年12月	1853/12/x	西村猪右衛門(印) 同又吾(印) 津田喜内(印)	西遊寺御知事	縦紙	年貢不納につき、譲り渡し年貢取立てること。
41	-	永代譲り渡申山之事	嘉永6年7月	1853/12/x	譲り主蟹屋平兵衛(印) 証人鯉屋半兵衛(印)	藤屋仁兵衛殿	縦紙	銀650目にて売渡しにつき。
42	-	借用中銀子之事	文久3年11月5日	1863/11/05	借用人藤屋仁兵衛(印) 証人泉屋吉右衛門(印)	西遊寺御世話方中様	縦紙	銀子5貫四443匁借用証文。
43	-	借用中銀子之事	慶応2年11月	1866/11/x	借用人主河内屋善兵衛(印) 請人近江屋五兵衛(印)	西遊寺様世話方中様	縦紙	借用銀子の返済が無い場合、山林一箇所を譲り受けること。
44	-	永代譲り渡申畑地之事	慶応3年3月	1867/03/x	譲り主鍵屋源三郎 証人鍵屋栄助 同甚右衛門 口入治兵衛	西遊寺様御知事	継紙	畑40反歩譲り渡すにつき。
45	-	証文	享保4年9月18日	1719/09/18	使忠兵衛(印) 落合左門(印)	こんにやく屋市郎兵衛殿	縦紙	焼野にある高3斗の所を新銀250目で受け取ったことを表す証文。
46	-	享和三亥年御触書之写	亥7月(享和3年7月)	1803/07/x	今橋常陸介(ほか)	御役所	冊子	享和三亥年西遊寺契書より奉行所への差上書控、同綴
47	-	(田畑畝高および本米等書上)	-	xx	-	-	冊子	田畑図・本米・地資など書上
48	-	(田畑書上)	-	xx	-	-	冊子	一部は木津川立替につき潰地化。畝・本地・地資など書上。

西遊寺古文書目録

文書番号	校番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
49	-	延享元年十月十四日 一采御奉行所 ^ル ノ御召ニ テ當寺屋根ニ鱗上 ^リ 在之 候儀御尋ノ被遊候ニ付以 口上書ヲ返答仕候留メ其 節小日記并ノ田中御当務 片岡兼官へ差出シ候口上 書留メ	延享元年10月14日	1744/10/14	西遊寺	-	冊子	書付、口上ノ覚等書上げ。
50	-	御尋ニ付口上之覚	天保12年旦9月	1841/09/x	西遊寺(印)	御当職御役人中	継紙	借用銀返銀の遅滞につき。
51	-	遺書	-	xx	当山第十五世線普単阿	-	冊子	表紙「アハ是ハ老のくりことなりと はノ口し候へ共日比之念願故 ニ記し候」表紙「当住和尚ノよ きニ斗らひ給へ」
52	-	くじ一件記	-	xx	-	-	包紙	「諸本山御用ノ御珠教司ノ京 寺町松原上ルノ近江屋権祐」 と印あり。文書番号53～64がく じ一件で一括。
53	-	請取申書付之事	明治2年12月	1869/12/x	藤屋仁兵衛(印)	西遊寺御世話方中 様	豎紙	平の山北畑彦反に関する証文 を受け取ったことを示す証文。 包紙に「証文一通 万性寺ノ 来迎寺 ^ル 戻り」と有り。文書番 号53～64が文書番号52「くじ一 件」で一括。
54	-	三ヶ年之写ノ日々散錢ヲ 以ノ本堂其他諸堂修覆積 立ノ寄附連名簿	明治10年5月1日	1877/05/01	-	-	豎帳	明治10年より3ヶ年の3厘、5厘、 7厘、計41名連名。文書番号53 ～64が文書番号52「くじ一件」 で一括。
55	1	覚	嘉永4年8月6日	1851/08/06	鍵屋久左衛門印 近江や五兵衛印	西遊寺廿三主 楽善真解和尚様 并ニ御法類中様	豎紙	21世の上人が質地戻しの証文 改め書き。包紙には「西遊寺取 締方ノ約定書式通入ノ此証文 ハ世話方中江預り置事」とあり。 文書番号53～64が文書番号52 「くじ一件」で一括。

西遊寺古文書目録

文書番号	枝番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
55	2	約定一札	天保11年正月	1840/01/x	西遊寺元落合慶治(印) 同橋本重藏(印)	西遊寺修理/世話 方衆中	縦紙	借財、年貢米、その他勘定書引受に付き谷村兵庫方へ古証文預け置きにつき。文書番号53～64がくじ一件で一括。
55	3	永代譲り渡申畑之事	文化2年正月20日	1805/01/20	志水町榎木屋讓主弥兵衛(印) 志水町浦垣内請人三右衛門(印) 橋本町世話人助三郎(印)	橋本町西遊寺様	縦紙	文銀1貫330匁で譲り渡すにつき。奥書に平野山株惣代西村清兵衛(印)あり。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括だが、平成元年教育委員会調査時には文書番号52～64の一括内にあり、後に文書番号55の包紙内に混入か。
55	4	約定	天保11年正月	1840/01/x	西遊寺廿一世戒誓(印) 世話方針屋磯五郎(印) 大和屋藤兵衛(印) 吉野屋九兵衛(印) 他10名	-	切紙	借入銀の節につき、年番の加印、奥印及び寺元三手調印を押すこと。奥書に「寺本橋本重藏(印)/落合慶治(印)」とあり。
56	-	永代譲り渡屋鋪并敷之事	明和5年5月	1768/05/x	吉田家親類/谷村頼母(印) 谷村忠藏(印) 谷村主膳(印) 谷村主馬(印) 吉田家定吏 喜右衛門(印)	落合将曹殿 落合大内藏殿	切紙	吉田道順の朱印地の譲り渡し状。文書番号53～64までが文書番号52「くじ一件」で一括。
57	-	借用申銀子之事	安政6年2月	1859/02/x	万性寺(印) 代恩寺(印) 西要寺(花押印)	来迎寺様	縦紙	銀500目借用証文。文書番号53～64までが文書番号52「くじ一件」で一括。
58	-	約定書	天保14年12月	1843/12/x	西遊寺何世真阿上人弟子何善檀方惣代	龍興寺真阿上人衆 并御弟子中	縦紙	住持近年諸什物売払いにつき、法類相続寺などの定め書。文書番号53～64までが文書番号52「くじ一件」で一括。

西遊寺古文書目録

文書番号	枝番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
59	-	当寺田地古証文寺元方谷村兵庫方へ／質物二入有之品二付当職引尋有之候／返答書等之一件	天保12年9月	1841/09/x	西遊寺知事	-	堅帳	お尋ねにつき呼び出し状、御尋二付口上之覚及び約定一札書上げ。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括。
60	-	約定一札	天保12年9月27日	1841/09/27	落合慶次代谷村仲橋本重蔵代橋本中務	西遊寺説代様	堅紙	借銀返済滞りにつき一札。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括。
61	-	永代譲り渡申本米之事	嘉永6年12月	1853/12/x	平野山本米譲り主西村猪右衛門(印) 証人同文吾(印) 同断津田喜内(印)	西遊寺御知事	継紙	1石7斗7升の譲り状。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括。
62	-	永代譲り渡申北町居屋鋪敷之事	安永6年12月	1777/12/x	譲り主落合将曹(印) 同落合大蔵(印) 証人谷村治部(印)	栗津宮内殿 御一家神原吉助殿	堅紙	吉田九郎右衛門より栗津家へ譲り渡すにつき。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括。
63	-	借用銀子之事	安政5年正月	1858/01/x	当人万性寺水(印) 加判人大恩寺(印) 他四ヶ寺	来迎寺様御取次	堅紙	銀子1貫500目、利足月割の銀子借用につき。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括。
64	-	約定一札之事	-	xx	-	-	堅紙	文書番号60の下書きと思われ。文書番号53～64が文書番号52「くじ一件」で一括。
65	1	〔書状〕	正月3日	x/01/03	立入左京亮 三宅安藝介 立入加賀守	西遊寺御役者中	折紙	包紙に「白銀壹両／御朱印之写也」とある。
65	2	〔朱印状写〕	慶長5年5月25日	1600/05/25	家康	橋本西遊寺	折紙	慶長5年の家康朱印状の写し。包紙に「白銀壹両／御朱印之写也」とある。
66	-	〔寄附状〕	天保14年7月27日	1843/07/27	本多左京季道(花押) 市岡兵部祥顕(花押)	西遊寺真阿上人御房	折紙	尊碑納められにつき。
67	-	口叙	明治10年初夏	1877/x/x	碌々庵松茂(花押)	習々菴定阿様	堅紙	茶道具を寺に寄進。包紙上書「西遊寺 由良」

西遊寺古文書目録

文書番号	枝番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
68	-	[西遊寺寺院明細帳控]	-	xx	-	-	罫紙	西遊寺の所在地、本尊などの情報を記す。絵図あり。
69	-	[宝物・寄附物什物・地所書上]	-	xx	-	-	罫紙	宝物等書上。境内の絵図あり。
70	-	[宝物・寄附物什物・地所書上]	-	xx	-	-	罫紙	宝物等書上。境内の絵図あり。綴じ目にほつれあり。
71	-	宝物寄附物什物取調帳	-	xx	-	-	罫紙	宝物・寄附物什物・地所の書上。境内の絵図あり。
72	-	[宝物・寄附物什物・地所書上]	明治13年	1880/x/x	西遊寺住職多田了珠 宝青菴住職末寺惣代宝井説禪 壇中惣代有馬善助 角谷三良兵衛 什器取締報恩寺住職虎岡寛眠 戸長山田直竹 区長家村久左工門	京都府知事榎村正直殿	罫紙	西遊寺の宝物等書上。虫損あり。
73	-	宝物什物寄附物取調帳	-	xx	本寺西遊寺住職多田了珠(印) 世話人物代赤井正治郎(印) 什器取締報恩寺住職虎岡寛眠 区長家村久左衛門(印)	京都府知事榎村正直殿	罫紙	西遊寺末寺地蔵院の宝物等取調帳。地蔵院無住につき西遊寺が作成。境内の絵図あり。虫損あり。
74	-	什物帳	-	xx	西遊寺住職多田了珠(印) 末寺惣代安養寺住職林善隆(印) 壇中惣代家村久左衛門(印) 戸長有馬久良兵衛(印)	-	罫紙	西遊寺什物等取調帳。

西遊寺古文書目録

文書番号	枝番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
75	-	寺院財産目録・建長寺什具目録	明治33年	1900/x/x	〔寺院財産目録〕建長寺住職河瀬法輪(印)・檀徒惣代小山幸太郎(印)・同米谷喜一郎(印)・同北山清太郎(印)・同小山徳三郎(印)・組長浄土寺住職大谷海乙(印)・本寺西遊寺住職前田臈典(印)河北教務支所井上了万(印)〔建長寺什具目録〕建長寺住職河瀬法輪(印)・檀徒惣代小山幸太郎(印)・同米谷喜一郎(印)・同北山清太郎(印)・同小山徳三郎(印)	-	野紙	「第六教区 河内国北河内郡葛葉村字葛葉 / 小教区 建長寺」の財産目録と什具目録。最後に「大阪府河内国北河内郡葛葉村大字葛葉 建長寺 / 境内式百六拾貳坪 / 墓地式拾壹坪」の平面図1枚付帯。
76	-	御条目并当寺定法之写	-	-	-	-	縦帳	「定」(元和元年7月制定、元和2年11月再布達)「定」(寛文5年7月11日)「条々」(寛文5年7月11日、大和守・美濃守・豊後守・雅楽守より)「条々」(享保7年6月、西遊寺より末寺中へ)「奉差上飯口上書」(享保7年6月、浄土宗西遊寺より御奉行所へ)「定」(享保7年6月、西遊寺より葛葉末寺中へ)「定」(享保15年5月、西遊寺より延寿寺・光明院・長福寺へ)

西遊寺古文書目録

文書番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
77	御条目御下知状之写并当寺法定法末寺江触書控	-	-	-	-	縦帳	「浄土宗諸法度」(元和元年7月制定、2年11月再布達)「定」(寛文5年7月11日)「条々」(寛文5年7月11日、大和守・美濃守・豊後守・雅楽守)「条々」(享保7年6月、西遊寺より末寺中へ)「奉差上仮口上書」(城州八幡橋本浄土宗西遊寺より御奉行所へ)「定」(享保7年6月、西遊寺より葛葉末寺中へ)「定」(享保15年5月、西遊寺より延寿寺・光明院・長福寺へ)76と同内容。
78	[届書・返答書写](長福寺弁覚の儀)	安永4年3月	1775/03/x	橋本西遊寺廿一世再建中興真阿頭興	-	縦帳	「以書付御届申上候」(安永4年3月、建長寺讚書ほか4名より御本寺御役僧中へ)「以書付御届申上候」(安永4年3月、「五ヶ寺各美名連印」より御本寺御役僧中へ)「作恐書付を以返答奉申上候」(安永4年4月5日、長福寺弁覚より御本寺御役僧中へ)「書付を以御断申上候」(安永4年4月8日、長福寺旦那中惣代笠右衛門より西遊寺様へ)「返答書を以御断申上候」(安永4年4月、「五ヶ寺各美名連印」より御本寺御役僧中へ)「作恐以返答書奉申上候」(安永4年4月16日、長福寺弁覚より御本寺御役僧中へ)

西遊寺古文書目録

文書番号	校番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
79	-	[証牒ほか写]	-	-	-	-	縦帳	大僧正直達状(8月)「約証」(文政13年9月、○春大僧正音代役者光学院・良雄院・善定・顯道より顯興隱者・同弟子法類中へ)「証牒」(天保14年初冬、総本山華頂大相乗万譽より城之南○西遊寺真阿へ)「副書」(天保14年10月、総本山都鑑より橋本西遊寺真阿へ)
80	-	安永八亥年ヨリ末寺住持繪旨并師跡学席控	安永8年	1779/x	-	-	縦帳	延寿寺・光明院・伝相寺・安養寺・長福寺・建長寺・極楽寺など
81	-	寺籍一覽表・寺院財産目録・宝青庵什具目録	明治33年12月20日	1900/12/20	[寺院財産目録]右宝青庵兼務住職福井豊道(印)・宝青庵信徒総代森本吉兵衛(印)・同上森本佐兵衛(印)・同上中村松之助(印)・組長安心庵住職別所善長(印)・触轄本寺西遊寺住職前田聰典(印なし)・第五教区八幡小教区教務支所長釜田戒定(印)(印文)「第五大教区八幡小教区教務支所長印」〔宝青庵什具目録〕右宝青庵兼務住職福井豊道(印)・宝青庵信徒総代・同上森本吉兵衛(印)・同上森本佐兵衛(印)・同上中村松之助(印)	-	罫紙・縦帳	間に「京都府山城国綴喜郡八幡町境内式百式坪宝青庵」の平面図1枚付帯。
82	-	十番組字中之町北之町墓籍簿	-	-	管理者多田了珠	-	縦帳	墓籍簿。中之町の部と北之町の部とに分かれる。
83	-	地券	明治14年3月が4枚、明治18年12月20日が21枚、明治20年3月4日が1枚、明治21年9月18日が3枚	1881/3/x,1885/12/20,1887/3/4,1888/9/18	京都府	持主西遊寺	一紙	29枚一括

西遊寺古文書目録

文書番号	枚番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
84	-	宗旨其外且中諸引合檀	嘉永5年	1852/x/x	統代孝通代	-	縦帳	宗旨改の経緯。
85	-	末寺江法度・末寺より可被相勤候控・末寺住持論旨并節跡可相控候	-	xx	-	-	縦帳	寺院法度等の控え。
86	-	焼野墓籍簿	-	xx	管理者	-	縦帳	「墓地細則第三条訓示第五号明治廿讀年九月十日・・・」とあり、表紙朱書「香印之部」
87	-	焼野墓籍簿	-	xx	管理者 平野純登	-	縦帳	表紙朱書「号印之部」
88	-	字立足寺之部(墓籍簿)	-	xx	-	-	縦帳	中扉に「字堂ヶ原之部」あり、落合・橋本・谷村・伴家など士族と常徳寺などの墓籍簿
89	-	表彰状	昭和5年4月19日	1930/04/19	大本山黒谷金戒光明寺法主大僧正都芳随円(印(印文)「大本山黒谷法主章」)	西遊寺住職千葉良導	縦紙	封筒あり。(封筒表)「府下八幡町橋本西遊寺殿」(封筒裏)「大本山黒谷金戒光明寺(印(印文)「大本山金戒光明寺社会課」)」
90	-	表彰状	昭和5年5月20日	1930/05/20	大本山黒谷大会準備局(印(印文)「大本山黒谷金戒光明寺準備局之(印)」)	第五区西遊寺殿	縦紙	封筒あり。(封筒表)「西遊寺殿」(封筒裏)「大本山黒谷金戒光明寺」
91	-	拾番組字中之町墓地図面	-	xx	-	-	図面	左下に東西南北の方位を記す、簿地区面に無縁・橋本新兵衛などの氏名と朱書きで番号、第壹号から第四号の墓域を記す
92	-	拾番組字北之町墓地図面	-	xx	-	-	図面	右下に東西南北の方位を記す、簿地区面に無縁・西遊寺・小嶋五郎兵衛などの氏名と朱書きで番号を記す
93	-	寄附浄財誌	文久2成年2月吉辰	1862/02/x	西遊寺知事、同世話方	-	縦帳	元祖慈教大師六百五十回御忌法事に際しての浄財。

西遊寺古文書目録

文書番号	枝番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考
94	-	鎮西大紹正宗国師六百遠忌法要記	天保12丑年8月	1841/08/x	廿一世戒誓願典代西遊寺知事	-	縦帳	8月2日より6日まで5日間の音楽法要。法要式目・献立記載。大紹正宗国師は、法然の直弟子聖光房弁阿弁長、浄土宗第二祖、嘉禎4年(1238)77歳示寂。
95	-	観音堂建立諸要記	宝暦9卯年	1759/x/x	現住翻誉	-	縦帳	観音堂立物絵図・奉願口上之覚・費用の書上・寄進銀覚を記載。仕用帳と合わせて綴じる。
96	-	檀中名員録	明治12卯年10月	1879/10/x	西遊寺執事	-	罫紙	最終頁欄外に「総計三百六人(内男百四十九人/百五十七人)二十九人」とあり。

朱印状目録

文書番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考	法量(縦×横)		
								本紙	本紙貼紙	包紙貼紙
1	徳川家康領知朱印状	慶長5年5月25日	1600/05/25	家康(朱印)	橋本／西遊寺	折紙	(包紙上書)「橋本町／西遊寺」No.1～3は木箱に収納、蓋表面「御朱印箱 西遊寺」、身内底面「元禄十二年巳巳年十二月 聖誉代造調」	47.1×64.9	-	-
2	徳川秀忠領知朱印状	元和3年8月16日	1617/08/16	(秀忠朱印)	浄土宗／三拾六ヶ寺	折紙	包紙上書「八幡山下寺庵／浄土宗三十六ヶ所分」とあり、次に包まれていた包紙には「台徳院様」とある。	46.4×66.7	「台徳院」4.1×1.5 「浄土三十六ヶ寺組」5.3×1.5	「台徳院様」未測定
3	徳川家光領知朱印状	寛永13年11月9日	1636/11/09	(家光朱印)	-	折紙	包紙上書に「大猷院様」とあり、次に包まれていた包紙には「八幡山下寺庵／三十六ヶ所分」とある。	45.8×63.2	「大猷院様」4.9×1.6 「浄土宗三十六ヶ寺」5.1×1.5	「大猷院様」8.6×2.6
4	知行方目録	慶長5年5月25日	1600/05/25	家康(朱印)	-	折紙	(包紙上書)「権現様御朱印／六ヶ寺組／慶祐庵・長福寺・興庵・観音寺・際講田・徳正」、六ヶ寺合せて3石9升	47.0×62.6	(本紙天部)「菅」5.4×1.5 「式」5.6×1.6 「参」5.5×1.5 「四」5.5×1.6 「五」5.7×1.5 「六」5.4×1.4 (端裏)「権現様」3.8×1.6 「浄土六ヶ寺」3.9×1.6	「三百六十七番」5.6×1.5

朱印状目録

文書番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考	法量(縦×横)		包紙貼紙
								本紙	本紙貼紙	
5	石清水八幡宮山下寺庵浄土宗之目録	元和3年8月16日	1617/08/16	伊賀守(花押)	-	継紙	(包紙上書)「目録/浄土宗三十六ヶ寺」	37.6×156.5	「伊賀守殿目録」 4.6×1.2「浄土宗三十六ヶ寺」 4.5×1.3「百五十〜」 20.4×2.0	-
6	石清水八幡宮山下寺庵浄土宗之目録(写)	元和3年8月16日	1617/08/16	伊賀守	-	継紙	(包紙上書)「目録/浄土宗三十六ヶ寺」文書番号5の写書。	-	-	-
7	徳川家綱領知朱印状	寛文5年8月15日	1665/08/16	(家綱朱印)	-	豎紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.6×65.7	「敵有院様」 3.4×1.5 「浄土三十六ヶ寺組」 4.4×1.6	「三十六ヶ寺組」 4.4×1.5
8	徳川家綱吉領知朱印状	貞享2年6月11日	1685/06/11	(綱吉朱印)	-	豎紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.9×66.3	「常憲院様」 3.4×1.5 「浄土三十六ヶ寺」 5.2×1.5	「常憲院様」 4.5×1.5 「三〜」 4.0×1.4
9	徳川吉宗領知朱印状	享保3年7月11日	1718/07/11	(吉宗朱印)	-	豎紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.8×65.5	「有徳院様」 4.5×1.4 「浄土〜」 5.2×1.4	「有徳院様」 4.5×1.4 「三〜」 3.9×1.5
10	徳川家重領知朱印状	延享4年8月11日	1747/08/11	(家重朱印)	-	豎紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.7×65.7	「惇信院様」 4.7×1.2 「浄土〜」 5.2×1.5	「惇信院様」 4.6×1.2 「三〜」 3.1×1.3
11	徳川家治領知朱印状	宝暦12年8月11日	1762/08/11	(家治朱印)	-	豎紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.8×64.4	「浚明院様」 4.6×1.2 「浄土〜」 4.6×1.5	「三〜」 3.0×1.3

朱印状目録

文書番号	文書名	年月日	西暦	作成者	宛所	形状	備考	法量(縦×横)		
								本紙	本紙貼紙	包紙貼紙
12	徳川家斉領知朱印状	天明8年9月11日	1788/09/11	(家斉朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.1×64.2	「文恭院様」4.6×1.2 「浄土～」3.0×1.2	「三～」4.9×1.9
13	徳川家慶領知朱印状	天保10年9月11日	1839/09/11	(家慶朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	46.7×64.4	「慎徳院様」4.4×1.2 「三～」4.8×1.5	「慎徳院様」4.4×1.2 「三～」4.7×1.5
14	徳川家定領知朱印状	安政2年9月11日	1855/09/11	(家定朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	45.6×64.0	「三～」5.8×1.4	「温恭院様」4.4×1.2 「三～」4.4×1.2
15	徳川家茂領知朱印状	万延元年9月11日	1860/09/11	(家茂朱印)	-	縦紙	(包紙上書)「石清水八幡宮領内/浄土宗」	45.2×64.7	「三～」4.9×1.4	「文恭院様」4.5×1.1 「三～」2.9×1.1

箱3 文書取り上げ一括状況

取り上げ一括番号	古文書目録番号	概要・形状	収納場所
1	68～80	財産目録、法度・口上書写しほか	上段
2	81～82	財産目録・墓籍簿	
3	83	地券 29枚	
4	84～88	墓籍簿ほか縦帳5冊	
5	89～92	封筒2点・墓地図面	
6	93～96	寄附浄財誌・観音堂建立記ほか	

取り上げ番号は、箱に収納されている古文書を上から順に付けた。



箱3 収納状況



文書取り上げ状況

表紙解説

	1 2 3
5	4
(裏)	(表)

1. 西遊寺古文書調査の様子
2. 念佛寺門前（撮影：中井正寛）
3. 念佛寺古文書調査の様子
4. 安居橋から男山を望む（撮影：中井正寛）
5. 八幡清水井の路地田町（たまち）（撮影：中井正寛）



京都府立大学文化遺産叢書 第10集

石清水門前寺院・南山城地域の古文書

—京都府歴史資料の調査—

編集 竹中友里代（京都府立大学文学部特任講師）

東昇（京都府立大学文学部 准教授）

発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都教区八幡組浄土宗青年会

発行日 2016年3月30日

印刷 双林株式会社

〒601-8106 京都市南区新千本通十条下ル
